

研究機関：広島大学

研究課題名 非 B 非 C 型肝細胞癌の臨床的特徴、治療法、予後に関する後ろ向き多施設
共同コホート研究

研究責任者名 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 消化器・代謝内科学
教授 茶山 一彰

研究期間 2017年6月29日(倫理委員会承認後)～2022年12月31日

対象者

1991年1月1日～2015年12月31日までに本院 消化器・代謝内科で診断された初発の肝
細胞癌患者さんでHBs抗原陰性かつHCV抗体陰性を対象とします。

意義・目的

わが国の肝細胞癌は、そのほとんどはB型あるいはC型慢性肝炎を背景として発生してきまし

本研究の目的は、非 B 非 C 型肝細胞癌の臨床的特徴、治療法選択状況、治療後の予後について
多施設から症例を収集し、検討を行うことです。

研究機関：広島大学

ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

Tel : 082-257-5191

広島大学病院 消化器・代謝内科 診療准教授 相方 浩